新国立劇場

新国立劇場 2024/2025 シーズンオペラ

ロッシーニ

セビリアの理髪師

Il Barbiere di Siviglia

2025年5月25日(日)～ 6月3日(火)

会場:新国立劇場オペラパレス　2025年3月8日(土) 10:00～ 前売開始

2020 年公演より

ロッシーニの魅力全開！誰もが笑顔になるラブ♥コメディ！

軽妙洒脱なストーリー展開と軽やかな声の妙技が楽しい、ロッシーニ随一の人気オペラ。ロッシーニ・クレッシェンドで盛り上がる序曲、「私は町の何でも屋」「今の歌声は」などおなじみのナンバーにのって、箱入り娘ロジーナと伯爵が理髪師フィガロの大活躍で結ばれる恋物語です。カラフルでポップなケップリンガー演出はユーモアいっぱいで、抱腹絶倒をお約束します。

脇園彩×ブラウンリー×デ・カンディア！オペラファン垂涎の最高の顔合わせ

ヒロイン・ロジーナ役には、世界のロジーナ歌いとして活躍する脇園彩が、2020 年公演に続いて登場。オペラパレスを沸かせに沸かせた脇園の溌溂としたロジーナが、さらにスケールアップして戻ってきます。アルマヴィーヴァ伯爵には、世界最人気のベルカント・テノールのローレンス・ブラウンリーが 21 年『ルチア』以来のカムバック。そしてフィガロ役にバリトンの大スター、ロベルト・デ・カンディア、バルトロには実力派ロッシーニ歌手ジュリオ・マストロトータロが登場するというイタリア・オペラ最高の顔合わせ。世界中のオペラファンがうらやむ最強カンパニーが、声の妙技を繰り広げます。

＜資料のご請求、ご取材のお問い合わせ＞
新国立劇場　制作部オペラ　広報担当:高梨木綿子
Tel:03-5352-5733／Fax:03-5352-5709／E-Mail:　takanashi_y1307@nntt.jac.go.jp

誰もが応援したくなること間違いなしの恋愛大作戦。ロッシーニ最高のラブ❤コメディ

軽妙洒脱なストーリー展開と軽やかな声の妙技が楽しい、ロッシーニ随一の人気作。ロッシーニ・クレッシェンドで盛り上がる有名な序曲に始まり、理髪師フィガロが早口で自慢をまくし立てる「私は町の何でも屋」、ロジーナが恋心を軽やかに歌うコロラトゥーラの人気曲「今の歌声は」など、おなじみの華やかなナンバーにのせて、箱入り娘ロジーナと伯爵がフィガロの活躍で結ばれる、痛快な恋物語が繰り広げられます。

ケップリンガー演出は、1960 年代後期のフランコ政権時代のスペインが舞台。60 年代のポップでキッチュな空気を、800 種にも及ぶ小道具が埋め尽くすカラフルな美術で表現。社会変革期の“熱い”市民の勢いを背景に設定、権力と不道徳の絶妙なバランスのもとでコメディを練り上げた演出は、ユーモアいっぱいでスピーディー。見た目もお金も大事なロジーナ、ちびっこギャング団を従えたフィガロ、娼館を営む家政婦ベルタら、したたかでちょっとずる賢くリアルな登場人物が、抱腹絶倒をお約束します。

あの手この手でロジーナに近づこうと奮闘する伯爵とフィガロが何度も変装して作戦を遂行、ぐるぐる回る舞台を駆け巡りついに結ばれるオペラ『セビリアの理髪師』は、笑いに次ぐ笑いを誘い、洒脱な音楽と人間の妙味が人生の喜びをじんわり実感させます。オペラが初めての方、「『セビリアの理髪師』は序曲しか聴いたことがない」という方でも文句なく楽しめる、新国立劇場鉄壁のレパートリーです。

ブラウンリー、脇園彩、デ・カンディア、マストロトータロ！　極上のキャストの声の妙技に酔いしれる

L.ブラウンリー

脇園彩

R.デ・カンディア

G.マストロトータロ

ヒロイン・ロジーナ役に登場するのは、世界のロジーナ歌いとして活躍する**脇園彩**。イタリアを拠点にヨーロッパの劇場で次々に主役を射止め、その活躍が「情熱大陸」でも紹介された旬の歌手脇園彩にとって、ロジーナは最大の当たり役。才気煥発なロジーナが、ミラノ、ボローニャ、フィレンツェ、トリエステ、そしてロッシーニの聖地ペーザロのロッシーニ・オペラ・フェスティバルでも大評判を獲得しています。新国立劇場でも 2020 年にロジーナ役を披露し、オペラパレスを沸かせに沸かせました。成熟と共にレパートリーを拡げ、昨年はジュネーヴ大劇場で『ロベルト・デヴェリュー』サラ、ロッシーニ・オペラ・フェスティバルで『ビアンカとファッリエーロ』ファッリエーロ、パレルモ・マッシモ劇場で『イングランド女王エリザベッタ』エリザベッタと次々にロールデビューを成功させた脇園彩のスケールアップした姿が楽しみです。

アルマヴィーヴァ伯爵には、驚異的な高音の持ち主で世界最高峰のベルカント・テノールとして活躍を続ける**ローレンス・ブラウンリー**が 21 年『ルチア』以来のカムバック。そして理髪師フィガロ役にバリトンの大人気スター、**ロベルト・デ・カンディア**、ロジーナの恋路を妨害する後見人バルトロには実力派ロッシーニ歌手**ジュリオ・マストロトータロ**が登場する最高の顔合わせです。

指揮は特にベルカント・オペラで評価されるコッラード・ロヴァーリス。世界のオペラファンが羨むカンパニーが妙技を繰り広げ、極上の時間をお届けします。

左上より C.ロヴァーリス、J・E.ケップリンガー、L.ブラウンリー、脇園彩、G.マストロトータロ、R.デ・カンディア、妻屋秀和、加納悦子

＜あらすじ＞

アルマヴィーヴァ伯爵は、町一番の美人ロジーナに一目惚れ。しかし、財産目当てでご執心の後見人バルトロのせいで、ロジーナはアプローチ不可能の箱入り娘状態。そこで伯爵は、お金さえもらえれば散髪から身の上相談、恋の仲介、手紙の代筆まで何でもする町の便利屋フィガロに助けを求める。あの手この手でバルトロ家に侵入し、伯爵の想いはロジーナに伝えられるが、大混乱を巻き起こす。フィガロの機転でピンチを脱し、すったもんだの末ハッピーエンドで幕となる。

新国立劇場『セビリアの理髪師』ダイジェスト映像

https://www.youtube.com/watch?v=EEbeBitnGfw

＜主要キャスト・スタッフプロフィール＞

【指揮】コッラード・ロヴァーリス　Corrado ROVARIS

ベルガモ生まれ。フィラデルフィア・オペラ音楽監督、アートスフィア音楽祭管弦楽団音楽監督。ベルカントやヴェリズモ・オペラで特に評価される指揮者。ミラノ音楽院で学び、ミラノ・スカラ座副合唱指揮者を務めた後、フィレンツェ歌劇場、ロッシーニ・オペラ・フェスティバルに招かれ、スカラ座、フェニーチェ歌劇場、ローマ歌劇場、ボローニャ歌劇場、リヨン歌劇場、モンテカルロ歌劇場、ローザンヌ歌劇場、ケルン歌劇場、フランクフルト歌劇場などに登場。1999 年、フィラデルフィア・オペラ『フィガロの結婚』でアメリカ・デビューし、カナディアン・オペラ・カンパニー、サンタフェ・オペラなどを指揮。フィラデルフィア・オペラでは世界初演作を特集するフェスティバル「Festival O」や室内オペラシリーズ「オーロラ・シリーズ」を立ち上げ手腕を発揮する。フィラデルフィア・オペラでは『グラス／ヘンデル』、ケヴィン・プッツ『Elizabeth Cree』、『リトゥン・オン・スキン』などが絶賛される。最近では、フィラデルフィア・オペラ『シモン・ボッカネグラ』『蝶々夫人』『The Listners』、ベルリン・ドイツ・オペラ『フィガロの結婚』、サンタフェ・オペラ『椿姫』パリ・オペラ座『清教徒』などに登場。新国立劇場では 2019 年『ドン・パスクワーレ』、23 年『ファルスタッフ』を指揮した。

【演出】ヨーゼフ・E.ケップリンガー　Josef E. KÖPPLINGER

オーストリア・ウィーン生まれ。アメリカで演劇を学んだ後、ウィーン音楽大学でピアノと声楽を学び、在学中から俳優・歌手として活躍する。1987 年レーゲンスブルク歌劇場のミュージカルで演出家デビュー。以来、バーデン市立劇場、ベルリン・カンマーシュピーレ、ウィーン・フォルクスオーパー、グラーツ歌劇場、フロリダ州タンパ歌劇場、マンチェスター・ナショナル・シアターなどで演出を手がけた。2004 年から 07 年までザンクト・ガレン歌劇場で演劇部門の芸術監督、07 年から 12 年までオーストリア南部のクラーゲンフルト市立劇場総監督を務めた。13 年にバイエルン文化賞を受賞している。現在、ゲルトナープラッツ州立歌劇場の総監督を務めている。

【アルマヴィーヴァ伯爵】ローレンス・ブラウンリー（テノール）　Lawrence BROWNLEE

アメリカ出身。各紙でベルカントの国際的スターと称賛されるテノール。メトロポリタン歌劇場、ミラノ・スカラ座、バイエルン州立歌劇場、英国ロイヤルオペラ、ウィーン国立歌劇場、パリ・オペラ座、ベルリン州立歌劇場、リセウ大劇場、マドリード・テアトロ・レアルなどの主要歌劇場へベルカントの主要な役で登場。2022/23シーズンはオペラ・フィラデルフィア『オテロ』、シカゴ・リリック・オペラ『オリー伯爵』、英国ロイヤルオペラ『セビリアの理髪師』とロッシーニの主要な役に出演したほか、メトロポリタン歌劇場『魔笛』（新制作）タミーノに出演。23/24シーズンは、シカゴ・リリック・オペラ『連隊の娘』トニオ、ウィーン国立歌劇場『セビリアの理髪師』アルマヴィーヴァ伯爵に出演したほか、ウィーン・コンツェルトハウスのガラコンサート、ジュネーヴ大劇場、ダラス・オペラ、コンセルトヘボウでのリサイタルなどに出演。今後の予定にミラノ・スカラ座『ドン・パスクワーレ』エルネスト、バイエルン州立歌劇場『チェネレントラ』ドン・ラミーロなど。新国立劇場では06年『セビリアの理髪師』アルマヴィーヴァ伯爵、21年『ルチア』エドガルドに出演し賞賛された。

【ロジーナ】脇園　彩（メゾソプラノ）　WAKIZONO Aya

東京生まれ。東京藝術大学卒業、同大学院修了。2013 年文化庁派遣芸術家在外研修員としてパルマ国立音楽院に留学。ペーザロのロッシーニ・アカデミー及びミラノ・スカラ座アカデミー修了。ミラノ・スカラ座をはじめ、パレルモ・マッシモ劇場、テアトロ・レアル、マインツ州立劇場、ベルギー王立ワロン歌劇場、ロッシーニ・オペラ・フェスティバルなどに多数出演。日本では 17 年藤原歌劇団『セビリアの理髪師』ロジーナでオペラデビュー。23 年、ファーストアルバム「アモーレ Amore」（BRAVO RECORDS)がリリース。ボローニャ歌劇場来日公演『ノルマ』アダルジーザも絶賛された。24 年はジュネーヴ大劇場でドニゼッティ『ロベルト・デヴェリュー』サラ、ロッシーニ・オペラ・フェスティバルで『ビアンカとファッリエーロ』ファッリエーロ、パレルモ・マッシモ劇場で『イングランドの女王エリザベッタ』エリザベッタにそれぞれロールデビューし絶賛される。主にロッシーニ、モーツァルトおよびベルカント作品をレパートリーとしてイタリアを拠点に活動し、世界中から注目されるアーティストのひとり。第 52 回 ENEOS 音楽賞洋楽部門奨励賞受賞。新国立劇場へは 19 年『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・エルヴィーラでデビューし、20 年『セビリアの理髪師』ロジーナ、21 年『フィガロの結婚』ケルビーノ、『チェネレントラ』タイトルロール、23 年『ファルスタッフ』ページ夫人メグに出演し喝采を浴びた。

【バルトロ】ジュリオ・マストロトータロ（バリトン） Giulio MASTROTOTARO

イタリアのバリトン。AsLiCo コンクールで『愛の妙薬』ベルコーレ役を獲得。マルティーナ・フランカ音楽祭で最優秀演奏者賞を受賞。ロッシーニを中心に活躍し、『セビリアの理髪師』『チェネレントラ』『愛の妙薬』などでモネ劇場、ボローニャ歌劇場、アヴィニヨン歌劇場、フェニーチェ歌劇場、ライプツィヒ歌劇場、ナポリ・サン・カルロ歌劇場、フィレンツェ歌劇場などに出演。ヴィルバード・ロッシーニ音楽祭では『結婚手形』『新聞』『ひどい誤解』に、ロッシーニ・オペラ・フェスティバルで『幸せな間違い』に、また、ミラノ・スカラ座では『トスカ』シャルローネ、『アルジェのイタリア女』ハリ、『イタリアのトルコ人』ジェローニオ、『愛の妙薬』ドゥルカマーラなどに出演。最近では、カリアリ歌劇場『チェネレントラ』ドン・マニフィコ、マルティーナ・フランカ音楽祭『イタリアのトルコ人』ドン・ジェローニオ、シュトゥットガルト州立歌劇場『セビリアの理髪師』バルトロ、『愛の妙薬』ドゥルカマーラ、『チェネレントラ』ドン・マニフィコ、英国ロイヤルオペラ『愛の妙薬』ドゥルカマーラ、ライン・ドイツ・オペラ『セビリアの理髪師』バルトロなどに出演した。本年３月にはカリアリ歌劇場『セビリアの理髪師』バルトロに出演予定。新国立劇場初登場。

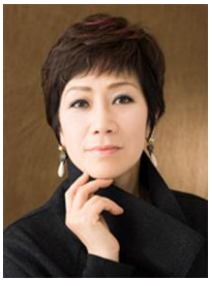
【フィガロ】ロベルト・デ・カンディア（バリトン） Roberto DE CANDIA

イタリア生まれ。卓抜した表現力と技術により世界中で活躍し、ミラノ・スカラ座、英国ロイヤルオペラ、メトロポリタン歌劇場、ウィーン国立歌劇場、ザルツブルク音楽祭、グラインドボーン音楽祭、チューリヒ歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、バイエルン州立歌劇場、モネ劇場、フィレンツェ歌劇場などの世界の著名劇場に『セビリアの理髪師』フィガロ、『愛の妙薬』ベルコーレ、『マノン・レスコー』レスコー、『チェネレントラ』ダンディーニ、『ファルスタッフ』タイトルロール、『椿姫』ジェルモン、『ジャンニ・スキッキ』タイトルロールなどでの役で登場。ミラノ・スカラ座では『シャモニーのリンダ』『マノン・レスコー』『セビリアの理髪師』『愛の妙薬』『アルジェのイタリア女』などに、メトロポリタン歌劇場には『マノン』『チェネレントラ』などに出演。ロッシーニの名手であり、ロッシーニ・オペラ・フェスティバルには 1996 年以来たびたび出演を重ねる。新国立劇場には 99 年『マノン・レスコー』レスコー、2002 年『セビリアの理髪師』フィガロ、09 年『チェネレントラ』ダンディーニ、18 年『ファルスタッフ』に続き 5 回目の登場。

【ドン・バジリオ】妻屋秀和（バス） TSUMAYA Hidekazu

東京藝術大学卒業、同大学大学院オペラ科修了。1994～2001 年ライプツィヒ歌劇場、02 年～11 年ワイマールのドイツ国民劇場専属歌手。これまでにベルリン・ドイツ・オペラ、ベルリン州立歌劇場、ライン・ドイツ・オペラ、スコティッシュ・オペラなどに出演。欧州、日本でモーツァルト、ロッシーニ、ヴェルディ、プッチーニ、ワーグナー、R.シュトラウス等のオペラの主要な役を 100 役以上演じており、新国立劇場では『ラ・ボエーム』コッリーネ、『ドン・ジョヴァンニ』騎士長、『セビリアの理髪師』ドン・バジリオ、『アイーダ』ランフィス、『リゴレット』スパラフチーレ、『ドン・カルロ』宗教裁判長／フィリッポ二世、『ラインの黄金』ファーゾルト、『魔笛』ザラストロ、『ルチア』ライモンド、『タンホイザー』領主ヘルマン、『トゥーランドット』ティムール、『夏の夜の夢』クインス、『イオランタ』ルネ、『ニュルンベルクのマイスタージンガー』ハンス・フォルツ、『さまよえるオランダ人』ダーラント、『ばらの騎士』オックス男爵、『ペレアスとメリザンド』アルケル、『夢遊病の女』ロドルフォ伯爵、『ウィリアム・テル』ジェスレルなど出演多数。芸術選奨文部科学大臣賞受賞。2024 年紫綬褒章受章。

【ベルタ】加納悦子（メゾソプラノ） KANOH Etsuko



東京藝術大学、ケルン音楽大学で声楽を学んだ後、ケルン歌劇場専属歌手として『フィガロの結婚』ケルビーノ、『蝶々夫人』スズキなど 40 以上の演目に出演。シュトゥットガルト歌劇場、ベルギー・フランドルオペラなどに客演。日本においてはびわ湖ホール『ワルキューレ』フリッカ、『トリスタンとイゾルデ』ブランゲーネ、東京二期会『ホフマン物語』ミューズ／ニクラウス、東京二期会『トリスタンとイゾルデ』ブランゲーネなどで高い評価を得る。新国立劇場では『魔笛』侍女Ⅱ、『ばらの騎士』アンニーナ、『ルサルカ』料理人の少年、『ピーター・グライムズ』セドリー夫人、『サロメ』ヘロディアスの小姓、『セビリアの理髪師』ベルタ、『神々の黄昏』ヴェルグンデ、『アルマゲドンの夢』インスペクター、『ジュリオ・チェーザレ』コルネーリア、『サロメ』ヘロディアスの小姓などに出演している。ドイツリートを集めた CD『メアリ・スチュアートの詩』、『アルバン・ベルク若き日の歌』をリリース。令和元年度芸術選奨文部科学大臣賞受賞。二期会会員。

新国立劇場 2024/2025 シーズン オペラ
ジョアキーノ・ロッシーニ
セビリアの理髪師
Gioachino ROSSINI / Il Barbiere di Seviglia
全2幕〈イタリア語上演／日本語及び英語字幕付〉

【公演日程】
2025 年 5 月 25 日(日)14:00／28 日(水)14:00／30 日(金)18:30／6 月 1 日(日)14:00／3 日(火)14:00
【会場】新国立劇場　オペラパレス
【チケット料金】S:26,400 円 ・ A:22,000 円 ・ B:15,400 円 ・ C:9,900 円 ・ D:6,600 円 ・ Z:1,650 円
【前売開始】2025 年 3 月 8 日(土) 10:00～
※予定上演時間　約 3 時間 10 分(休憩含む)

指 揮 Conductor	コッラード・ロヴァーリス Corrado ROVARIS
演 出 Production	ヨーゼフ・E.ケップリンガー Josef E. KÖPPLINGER
美術・衣裳 Set and Costume Design	ハイドルン・シュメルツァー Heidrun SCHMELZER
照 明 Lighting Design	八木麻紀 YAGI Maki
再演演出 Revival Director	上原真希 UEBARU Maki

アルマヴィーヴァ伯爵 Il Conte d'Almaviva	ローレンス・ブラウンリー Lawrence BROWNLEE
ロジーナ Rosina	脇園 彩 WAKIZONO Aya
バルトロ Bartolo	ジュリオ・マストロトータロ Giulio MASTROTOTARO
フィガロ Figaro	ロベルト・デ・カンディア Roberto DE CANDIA
ドン・バジリオ Don Basilio	妻屋秀和 TSUMAYA Hidekazu
ベルタ Berta	加納悦子 KANOH Etsuko
フィオレッロ Fiorello	高橋正尚 TAKAHASHI Masanao
隊長 Un Ufficiale	秋本 健 AKIMOTO Ken
アンブロージオ Ambrogio	古川和彦 FURUKAWA Kazuhiko

合唱指揮 Chorus Master	水戸博之 MITO Hiroyuki
合唱 Chorus	新国立劇場合唱団 New National Theatre Chorus
管弦楽 Orchestra	東京フィルハーモニー交響楽団 Tokyo Philharmonic Orchestra

芸術監督 Artistic Director	大野和士 ONO Kazushi

公演情報 WEB サイト https://www.nntt.jac.go.jp/opera/ilbarbieredisiviglia/

【チケットのご予約・お問い合わせ】　新国立劇場ボックスオフィス TEL:03-5352-9999（10:00～18:00）
新国立劇場Webボックスオフィス http://nntt.pia.jp/

【チケット取り扱い】チケットぴあ、イープラス、ローソンチケットほか
＊ Z席 1,650 円:公演当日朝 10 時より、新国立劇場 Web ボックスオフィスほかで販売。1人1枚。電話予約不可。
＊ **当日学生割引(50%)**、ジュニア割引(20%)、高齢者割引、障害者割引、学生割引など各種割引あり。＊未就学児入場不可。

本公演はレパートリー作品です。過去の上演の舞台写真を宣材としてご提供致します。

【1】

【2】

【3】

【4】

【5】

【6】

【7】

【8】

【9】

【10】

【11】

新国立劇場『セビリアの理髪師』2020 年公演より　撮影：寺司正彦